



信夫第二小学校 学校便り

きらら

〈教育目標〉

「めあてを持ち、やりぬく子ども」の育成

- よく考える子ども（学習：学力）
- 思いやりのある子ども（生活：人間力）
- 体をきたえる子ども（健康：体力）

No.3 令和3年5月21日(金)発行

◆ 凡 事 徹 底 ◆

これは、「何でもない平凡なことをしっかりやっていく」という意味の言葉です。その積み重ねが大きな違いを生み出すという意味も暗に含んでいます。

自動車用品チェーン大手のイエローハット創業者の鍵山秀三郎（かぎやまひでさぶろう）氏は、自転車での行商からスタートした会社を年商数百億円規模にまで育てました。そんな鍵山氏が日々実践していたのがこの「凡事徹底」です。



朝起きたら布団をたたむ、くつをそろえる、家の前を掃くなど日常の生活でのちょっとしたことをきちっとやる。そして、会社のトイレ・道路などの掃除は四十年に渡ってやり続けました。掃除ひとつにも心を込め、人に喜ばれることを徹底したと言います。

人は誰しも、何かで成功したいとか周囲の中で特別な存在でありたいと願うものです。控えめな人だって、やっぱり人並み以上にはなりたいと思うはずです。そしてそのためには、何か特別なことをしないといけないと考えてしまうのが普通です。誰でもできるようなことをしていても、それだけでは特別な存在にはなれないと考えるからです。

しかし、実際に成功した人の多くは、「自分は何も特別なことなどしていない」と言います。

成功は、宝くじに当たるかのような特別なことではなく、地道なことの積み重ねの先にあるからです。元大リーガーのイチローも言っていました。「小さいことを重ねることが、とんでもない所に行くただひとつの道」だと。

一流の人は目に見えないところを磨き上げると言います。掃除一つとっても、そのコツは、見えないところを磨き上げることだそうです。成功や幸せというのは人それぞれ様々な形がありますが、どこか共通しているものがある気がします。それは「凡事徹底」を実践しているということです。誰にでもできる簡単なことでも大切なことは決しておろそかにしない。そんな姿勢の積み重ねが成功や幸せにつながるわけです。

学校では、「あいさつ」「返事」「きまりを守る」「そろえる(くつ等)」という4つのキーワードを掲げて、凡事徹底に力を入れて指導しています。ぜひ、各ご家庭でも、凡事徹底を心がけてみてください。子どもたちの将来が、夢と希望にあふれるものになりますように…。予測困難なことが起こる時代ではあるけれども、子どもたちが自分の力で未来を切り拓き、周りの人とよりよい関係を築きながら幸せな生活を送ることができるよう…。心からそう願っています。そのためにも、小学校では、まず「凡事徹底」で、子どもたち一人一人の人生の基礎を構築していこうと考えております。

信夫二小ポータルサイトについて

サイト内の「スクールライフ」では、学校の様子について、日々紹介させていただいております。学校日より「きらら」では紹介しきれない子どもたちの活躍等を豊富に記載しております。ぜひ、お読みいただきたいです。アクセス数97,556(5/21現在)を6桁の100,000にすることを目標に日々更新しております!!



5 / 29 (土) 6:00~7:00

PTA親子奉仕作業

ソーシャルディスタンスを保ち、マスク着用の上、会話を控えながら奉仕作業を行う予定です。安心安全な教育環境整備にご協力ください。よろしくお祈りします。

